

第3回グリーンフォトニクスセミナー

「分子の自己組織化で考えるグリーンテクノロジー」

第6回バイオナノシステムズ研究会

第2回超短パルスレーザー細胞プロセス研究会

共催：奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科

自然エネルギー利用を促進し、省電力化、低炭素化をめざすグリーンテクノロジーを、最も高度に達成しているのは、生物である。生物とそれを構成する細胞は、分子を高度に組織化することにより、その形態を形成し、その機能を発動しており、今後のグリーンテクノロジーを考える上で、分子の自己組織化について学び、その高度な利用方法について検討することは不可欠な課題である。本セミナーでは、蛋白質、水、分子性材料などの自己組織化を課題として取り組む研究者を集め、分子の自己組織化の観点からグリーンテクノロジーの将来像を模索する。

日時 平成25年12月12日(木) 10:00~17:00

場所 キャンパスプラザ京都 第3会議室 (京都市下京区西洞院通塩小路下る)

参加費： 無料

プログラム

10:00~10:05	開会の辞 細川陽一郎 (奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科)
10:05~10:50	藻類フェリチンとミネラルイゼーション 岩堀健治 (科学技術振興機構 さきがけ 専任研究者)
10:50~11:35	実験と計算で探る協調的な多細胞運動の生成 平島剛志 (京都大学 ウイルス研究所 研究員)
	昼休み
13:00~13:45	自己組織化による無機ナノ粒子-高分子コンポジット材料の創製 藪浩 (東北大学多元物質科学研究所・准教授)
13:45~14:30	円偏光発光性ナノマテリアルの創製と機能化 内藤昌信 (物質・材料研究機構・主幹研究員)
14:30~15:00	休憩
15:00~16:00	高分解光学顕微法で見る氷結晶の表面融解 佐崎元 (北海道大学低温科学研究所 教授)
16:00~16:45	時間分解赤外分光法で観る水の構造揺らぎとダイナミクス 太田薫 (神戸大学分子フォトサイエンス研究センター 特命准教授)
16:45~17:30	フェムト秒レーザー衝撃波による氷化誘導 細川陽一郎 (奈良先端科学技術大学院大学 特任准教授)
17:30~17:35	閉会の辞 岩堀健治 (科学技術振興機構 さきがけ 専任研究者)
18:00~20:30	懇親会 (京都駅近郊の居酒屋)